報道関係者各位
プレスリリース

2015年5月29日
株式会社 FFRI

従来のパターンマッチング型アンチウイルスソフトで防御不能な“未知の脅威”に対抗
FFRI、個人向けセキュリティソフト「FFRI プロアクティブ セキュリティ」を
2015年6月22日より全国のヤマダ電機で取り扱い開始予定

サイバーセキュリティ領域において国内で独自の研究開発活動を展開している株式会社 FFRI（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鵜飼裕司、以下 FFRI）は、2015年6月22日より、個人向けセキュリティソフト「FFRI プロアクティブ セキュリティ」（パッケージ1年版）を全国のヤマダ電機（本社：群馬県高崎市、代表取締役社長兼代表執行役員 CEO：山田昇）で取り扱い開始を予定しています。FFRIがセキュリティソフトを家電量販店で販売するのは、今回が初となります。

アンチウイルスソフトでは検知できないマルウェアが急増中

近年の急激に増え続けるマルウェア※1による攻撃に対しては、従来のパターンマッチング型のアンチウイルスソフトだけでは対抗することが難しくなってきています。最近では、悪意の第三者により日々膨大な数のマルウェアが作りだされており、アンチウイルスソフトは、パターンファイルの作成及び配信が追い付いていない状況です。さらに、高度なサイバー攻撃に使用されるマルウェアは、アンチウイルスソフトでは検知されない（パターンファイルに登録されていない）未知のマルウェアが使用されているという現実もあります。

「FFRI プロアクティブ セキュリティ」は、パターンマッチング技術※2ではなく、独自のプログレッシブ・ヒューリスティック技術※3により、未知のサイバー脅威に対抗する個人向けセキュリティソフトです。

全国のヤマダ電機の販売網を通じて、幅広いお客様のニーズに対応

「FFRI プロアクティブ セキュリティ」ダウンロード1年版は2015年4月より『FFRI オンライン・ショップ』（http://www.ffri.jp/online_shop/index.htm）にて販売を行ってまいりましたが、このたび同パッケージ1年版をヤマダ電機の38店舗で販売、また全国のヤマダ電機での取り扱い、お取り寄せの開始を予定しています。販売店舗は順次拡大予定です。ヤマダ電機の販売網を通して、より多くのお客様が安心・安全にインターネットをご利用いただけるよう取り組んでまいります。

【製品名称】

FFRI プロアクティブ セキュリティ

【リリース日/価格】

パッケージ 1 年版：2015 年 6 月 22 日販売開始予定

/8,500 円（税抜）

【販売予定店舗　（下記全国 38 店舗、順次拡大予定）】

■北海道

テックランド札幌本店

■宮城県

テックランド New 盛岡本店

LABI 仙台

■東京都

LABI 1 日本総本店、池袋モバイルドリーム館

LABI 品川大井町、新橋、自由が丘、吉祥寺、渋谷、新宿東口館、

新宿西口館、秋葉原パソコン館

■神奈川県

テックランド横浜本店、茅ヶ崎店

テックランド New 港北センター

LABI 大船、上大岡

■千葉県

テックランド New 蘇我本店

LABI 津田沼

■埼玉県

テックランド春日部本店

■群馬県

LABI 1 高崎

テックランド New 前橋本店

■長野県

テックランド NewSBC 通り本店

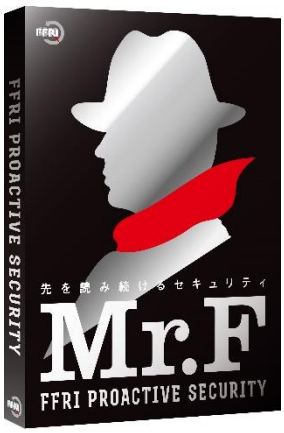
■愛知県

LABI 名古屋

■大阪府

LABI 1 なんば

LABI 千里



■兵庫県
テックランド神戸本店
LABI 三宮 seiden
テックランド New 神戸垂水本店、加古川本店、姫路本店
■広島県
LABI 広島
■徳島県
テックランド徳島本店
■香川県
テックランド高松春日店
■福岡県
テックランド福岡香椎本店
■佐賀県
テックランド佐賀南部バイパス店
■熊本県
テックランド New 熊本春日店

【販売予定方法】
上記の店舗：店頭で販売
上記以外の店舗：取り扱い・お取り寄せ可能

※1 コンピュータ・ウイルス、スパイウェアなど、悪意のある目的を持ったソフトウェアやプログラムのこと。
※2 検査対象のプログラムと、パターンファイル（マルウェアのデータベース）をマッチングしてマルウェアを検知・防御する仕組み。パターンファイルを保持していなければ検知することができないため、新種や改造されたマルウェアは検知・防御することができません。
※3 パターンファイルに全く依存せず、マルウェアの構造や振る舞いを見て、マルウェアに特徴的な「悪意」を分析することにより検知・防御する技術。パターンマッチング技術では防御が難しい新種や改造されたマルウェアであっても、マルウェアに共通する「悪意」を検知して防御することが可能。

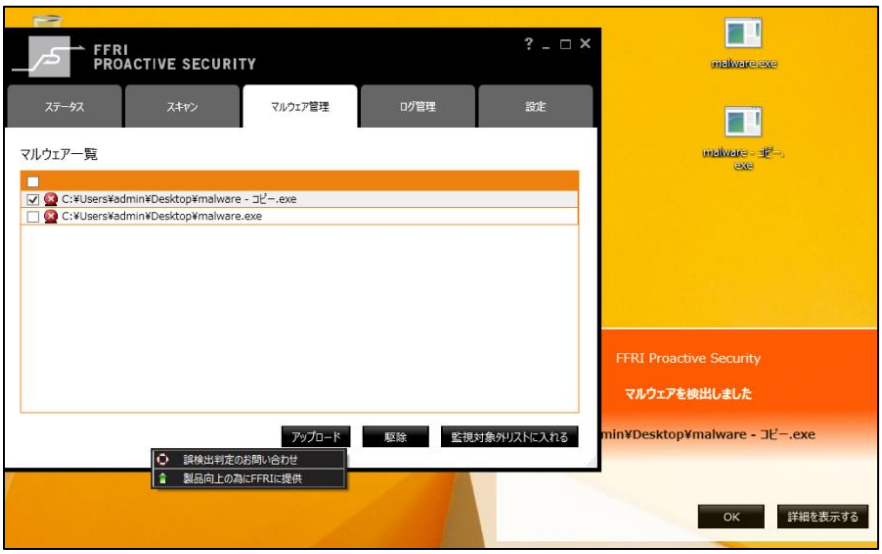
未知のマルウェアに対応する「プログレッシブ・ヒューリスティック技術」

FFRI プロアクティブ セキュリティでは、FFRIが独自に開発したプログレッシブ・ヒューリスティック技術により、既知・未知に関係なく、マルウェアの脅威から防御します。
単一的なアプローチによるヒューリスティック分析では、検知精度が不十分なために、本来検知すべきマルウェアを検知できなかったり、正常なプログラムを誤検知してしまう懸念がありました。FFRI プロアクティブ セキュリティは、攻撃者の思考を先回りした先進的な検知ロジックを複数搭載するプログレッシブ・ヒューリスティック技術で検査対象のプログラムを多角的なアプローチで分析し、マルウェアをリアルタイムで高精度に検知・防御します。

【FFRI プロアクティブ セキュリティのプログレッシブ・ヒューリスティック技術】

■ZDPエンジン	メールやWebページ閲覧時の攻撃など、既知・未知の脆弱性を狙ったウイルス攻撃を防御。 独自の「API-NX」技術(特許第4572259号)で、任意コード実行型脆弱性の攻撃を防御。
■Static分析エンジン	プログラムを動作させることなく分析。「PE構造分析」「リンカー分析」「パッカー分析」「想定オペレーション分析」など 多数の分析手法「N-Static分析」で検知。
■Sandboxエンジン	仮想CPU、仮想メモリ、仮想Windowsサブシステムなどで構成される仮想環境上でプログラムを実行。 独自の「U-Sandbox検知ロジック」で命令の組み合わせに基づいて検知。
■HIPSエンジン	実行中プログラムの動作を監視。他プログラムへの侵入、異常なネットワークアクセス、 キーロガーやバックドア的な動作などの挙動を、独自の「DHIPSロジック」で検知。
■機械学習エンジン	FFRIが収集したマルウェアに関するビッグデータを元に実行中のプログラムを監視。 ビッグデータ上の振る舞い特性を抽出し、機械学習で分析した特徴により端末上の悪意ある挙動を検知。

【画面イメージ】



株式会社 FFRI について

当社は 2007 年、日本において世界トップレベルのセキュリティリサーチチームを作り、コンピュータ社会の健全な運営に寄与するために設立されました。現在では日々進化しているサイバー攻撃技術を独自の視点で分析し、日本国内で対策技術の研究開発に取り組んでいます。研究内容は国際的なセキュリティカンファレンスで継続的に発表し、海外でも高い評価を受けておりますが、これらの研究から得られた知見やノウハウを製品やサービスとしてお客様にご提供しています。主力製品となる、「FFR yarai」はミック経済研究所調べ※3によるエンドポイント型標的型攻撃対策分野における出荷金額において No.1 を獲得しております。

※3　出典：ミック経済研究所「情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2014【外部攻撃防御型ソリューション編】」

本件に関するお問い合わせ先
写真・資料等がご入用の場合もお問い合わせください。

株式会社 FFRI
経営企画部　PR 担当
TEL：03-6277-1811
E-Mail：pr@ffri.jp　URL：http://www.ffri.jp

「FFRI」、「FFR yarai」は、株式会社 FFRI の登録商標です。

その他すべての社名、製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

出典資料の引用等、調査会社の著作物を利用する場合は、出典元にお問い合わせください。